



主 題

- クラブ (主 題) “Once More We Stand”
 「いざ立て友よ、ワイズとともに」 小森 三省会長
- 国 際 (主 題) “Audere est Facere — To dare is to do”
 「とにかかくやろう — 成せば成る」 Finn A. Pedersen (ノルウェイ)
- ア ジ ア (主 題) “Mission with Faith”
 「信念をもって使命をはたそう」 Wichian Boonmapajorn (タイ)
- 西日本区 (主 題) “Contribute to the Community through Active Services with Love”
 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」 浅岡 徹夫 (近江八幡)
- 中 西 部 (主 題) 「であいで愛」 清水 誠治郎 (大阪西)

聖 句

十字架の言 (ことば) は、滅び行く者には愚かであるが、救いにあずかるわたしたちには、神の力である。
 コリント人への第一の手紙 第1章18節

いざ立て友よ、ワイズとともに

小森 三省会長

2004年クラブに入会して、早や7年目になりました。この間2008年にクラブ会長、2009年にメネット事業主査と色々勉強して来ましたが、未だに満足する答えがありません。思い出せば2008年の会長の折、会長主題として「いざ立て友よ、ワイズと共に」と自分自身でも立派な主題を作成したと思いますが、会長として一年間クラブのために何もできず大いに反省しました。再度この気持ちを持つため同じ会長主題としたいと思います。今回二度目の会長です。過去7年間クラブメンバーとしての経験を活かし、集大成のつもりでがんばります。

各クラブとも一番の目標はメンバーの増強です。我クラブも会長としてメンバー増強のために色々交流を深め下地を充分作ってきました。ここで一気に花を咲かせるつもりです。各メンバー様へドロップだけは止めましょう。また、クラブの方針、スローガンとして環境問題を継続します。環境に対するクラブとしては蓄くらいでしょうか？引き続き例会では立派な講師のお話を聞きながらメンバー全員で勉強しましょう。我がクラブには海外の11クラブとIBCを締結しています。60周年事業は東北大震災のため中止となり、海外からの訪日も中止となりました。ぜひIBC交流を継続するため我がクラブが訪問してはどうでしょうか。メンバー、メネットのみなさんはどうか会長を補佐していただきますよう、お願い申し上げます。

7月 例会プログラム

日時：2011年7月19日(火) 18:30~20:20

会場：土佐堀YMCA902号室

司会：灰谷 隅夫メン

担当：EMC事業委員会(灰谷、岩原、北村、小坂井)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 開会宣言・点鐘 | 小森 三省 会長 |
| 2. ワイズソング | — 同 |
| 3. ゲスト紹介 | 司 会 者 |
| 4. 聖句朗読・メッセージ | 灰谷 隅夫メン |
| 5. 食前感謝 | 灰谷 隅夫メン |
| 6. 晚餐と歓談 | — 同 |
| 7. 会員総会 | 議長 北村 昭四前会長 |
| 事業報告、決算報告 | 生地 義治直前会長 |
| 活動方針、予算案 | 小森 三省 会長 |
| 8. YMCA ニュース | 小路 清一 連絡主事 |
| 9. インフォメーション | 岩原 義則 書記 |
| 10. 誕生日・結婚記念日 | 小森 三省 会長 |
| 11. ニコニコ | 司 会 者 |
| 12. YMCA の歌 | — 同 |
| 13. 閉会宣言・点鐘 | 小森 三省 会長 |

7月の強調テーマ < Kick-off・EMC-C >

メンバー一人ひとりの小さな一歩は、クラブの大きな一歩となるでしょう。新しい自分の為、未来のクラブの為、まず一歩踏み出しましょう。

大岩 英人 EMC事業主任 (京都グローバルクラブ)

例会報告

岩田 晋

6月

役員会報告

岩田 晋

6月21日は東日本大震災復興委支援トーク&ライブコンサートが開かれてから丁度一ヶ月。西日本区大会も済んで、いよいよ今期最後の例会となりました。今回はゲストスピーカー以外に次期中西部長とそのスタッフを務める西クラブのメンバーが5名、ヴェクセルクラブ副会長、さらに小森メン紹介のゲストも加わり、ゲスト・ビジター総勢8名という賑やかな例会でした。出席者が30名ともなると、いつもの902号室が狭く感じられます。次期中西部長とスタッフの面々の多くは元土佐堀メンバーで、まるで同窓会といった感じもします。

さて、例会は定時に開始。序盤の定例プログラムに続いて、清水・次期中西部部長立会いのもと、新旧会長の交代式。見慣れた年中行事であると言うものの、なぜかジンと胸に来ます。続いて清水次期中西部長の危機感をベースにした決意表明と激励の言葉。中西部メンバーの平均年齢を聞いて愕然としたのは私だけではない筈です。普段何気なく眺めているロースターに掲載されている諸メンバーの年齢から算出された平均年齢は説得力があります。この日のゲストスピーカーはNPO法人木野環境の理事・丸谷一耕さん。サザエさんの漫画を分析することによって社会の環境問題の変遷をわかり易く知らせる方法にはアツと驚きました。新聞記事を辿って行くという研究方法は常套手段として使われますが、《新聞連載の漫画》を材料に、そこに描かれた家庭や社会の姿を通して二酸化炭素の排出量がどのように変化して行ったかということを推測して行く方法は正に目からウロコの思いでした。今では忘れ去られてしまった道具のイラストがスクリーンに映し出される度に「ウンウン」と頷かざるにはられません。聞きたい話はまだまだ多く、30分という時間は余りにも短すぎた！というのが率直な実感です。

生地会長からは西日本区大会での受賞報告があり、続いてインフォメーション。時間が無情に刻々と進む中、わが大住農場特産品の玉葱15袋のファンドオークション。予定より7分ほど時間をオーバーして閉会点鐘となりました。この日の出席が3回目であると宣言された、今回が例会出席3回目のビジター、清水弘文さんは大住農場の作業には欠かさず顔を出して下さる支配人的存在。頼もしき仲間です。最後の例会が無事終わったという安堵感にホッと一息つき、地下鉄に乗ったのは20時55分でした。平均年齢とサザエさん、私にとって印象に残る例会でした。



日時：2011年6月28日（火）18:30～20:30

場所：奥田事務所

出席者：生地会長、岩原、岡野、奥田、工藤、小森、小路、只野、永井、福永、牧口、水口、岩田

I. 報告事項

1. 6月例会 [6月21日（土）大阪YMCA902号室]

出席者：メンバー17名、メネット3名、ビジター8名
ゲスト1名 出席率：17/20=85.0%TOS ファンド：207,000円（*工藤メンからの20万円含む）
ニコニコファンド：11,000円

担当：広報事業委員会（道関・福永・岩田）

内容：①次期中西部長あいさつ 清水誠二郎中西部長

②新旧会長交代式

③ゲストスピーチ：NPO法人 木野環境

理事 丸谷一耕氏「環境問題について」

④西日本区大会報告

⑤アジア大会参加者確認

灰谷メン、岡野メンが参加する予定。

*工藤メンより「ワイズ歴30周年を記念し、ワイズ活動に役立ててほしい」とクラブへ20万円の寄付をいただきました。感謝してご報告申し上げます。

II. 協議事項

1. 各事業委員会メンバー構成員案作成

2. 当期活動会計報告及び予算案協議

3. 例会開催予定日協議

8月及び12月は開催日開催場所変更予定

8月23日ラウンジ「翔」にて納涼例会、12月はクリスマス例会開催の予定。

4. ブリテン巻頭言・聖句食前感謝担当決定

会長を終えて

生地 義治

60代目の会長という名誉を頂いて、大活躍をしなければならぬと思いつつ、昨日まで10年余り妻の病院と家の往復をする毎日を送り、世捨て人同様社会活動から遠のいていて、新入会員の候補者もゲストスピーカーを頼める人材も少なく、例会運営も四苦八苦でした。60周年記念行事だけは成功させなくてはならないと思いつつ切っていました。3月11日の惨状で、それも潰れてしまいました。どうか1年を終えることが出来たのも、メンバーの皆様の大いなるお陰です。会長は孤独で、なにかも自分で解決しなければならぬ。それには私は力不足でした。明日から、妻の病院通いの生活に戻れます。メンバーの皆様、1年間本当にお世話を掛けました。

<アンニョンKOREA>

岩田 晋

穀倉地帯に残る鎮守の森

1月、ソウルに滞在している時、光州の友人から連絡が来た。とにかく光州へ来いと、誘われるままに、光州へ赴き、一緒に訪ねたのは光州市松汀里だった。韓国の鉄道、湖南線と光州線の分岐点となる松汀里（ソンジョンリ）は昔から交通の要衝として知られてきたが、3年前の光州市営地下鉄延伸により、松汀里と都心が直結されることになり、松汀里の町はベットタウンとして大きな変貌を遂げつつある。この地は1910年代（大正初期）に日本人3家族が入植したのが日本人移住の嚆矢となり、以後、日本人が相次いでこの地に移住するようになった。そして、20年後の1935（昭和10）年には町の人口約14,000人のうち日本人が約1,200人で8%強を占めるようになる（1935年朝鮮総督府国勢調査）。この期間の増加率は驚異的数字と言える。「松汀里」の地名は、この地に移住した日本人が松の木を多く植えたことに由来するとも言われるほど日本との因縁が強い土地。以前には多く見られた日本家屋、例えば入母屋造りのコンビニエンスストア、旧精米所の一部を利用した物流倉庫などは、既にその姿を見ることは出来ない。街道沿いは再開発が進み、高層アパートが林立する住宅地になろうとしている。友人の先導で緩やかな坂道を登ると、その先に見たのは「鎮守の森」だった。こんもりと茂る森の端に一見してすぐ神社のそれと分かる屋根。友人が私に見せたかったのはこれだったのだ。(7)



鎮守の森そのものである



「奉燈」の文字がはっきりと残る

(7) 今は尼寺の本殿となり、様々な飾り物が付けられているが、「社殿」であったことは疑う余地がない。さらに前面には「奉燈」の二文字が大きく刻まれた石製基台が左右に並んでいる。上の部分はなくなっているものの、これが灯明台であったことは確実。基部には奉納の年月日が刻まれているが、年号の部分だけはセメントが塗られ、「四月十一日」の文字しか読めない。これまで韓国で多くの神社跡を見て来たが、このように多くのものが残されているのを見るのは初めて。石材を敷き詰めた参道も、まさしく神社のそれ。参道脇にはかなり改造された「寺務所」があるが、これも一見して、社務所であったことがわかる。案内を乞うと尼さんが中へ招いて下さった。色々な話を聞くことは出来たが、ここの由来に関することはわからず、資料は何も残されていないとのこと。戦前に発行された「大陸神社大観」に拠れば、松汀神社の創立は1922（大正11）年11月21日。日本人が多く住んだ異郷の地・全羅南道光州郡松汀里面（町）。春秋には祭礼を楽しむ人の群れ、そして正月には初詣客で賑ったであろう鎮守の森。日本人には極く当たり前の光景であっても、韓国の人たちの目には奇異に映ったかも知れない。「光州市から借りて住んでいるのだから、いつかは出て行かなければならないわねえ」、熱い茶を私達に勧めながら尼さんは淋しそうな声でつぶやいた。

IBC & International

第24回アジア大会開催

8月5日～7日、台湾宜蘭にて第24回アジア大会が開催されます。

「Nature + Culture = Future」

自然 + 文化 = 未来

をテーマに様々なプログラムが計画されています。

また8月3日～7日まではユースコンボケーションも開催されます。

プログラム

8月4日 ACM会議 前夜祭

8月5日 ゴルフ大会、開会式、
基調講演、国際会長
台湾原住民パフォーマンス、IBCナイト

8月6日 事業報告、メネットプログラム
ワークショップ、アジア会長スピーチ
アジアカルチャーナイト、晩餐会

8月7日 聖日礼拝、ユースコンボケーション報告
閉会式

台北セントラルクラブとのIBCナイトも計画されています。灰谷、岡野両メンが参加する予定です。



第14回西日本区大会報告

灰谷 隅夫

6月11日～12日、ワイズメンズクラブ国際協会第14回西日本区大会がウエスティン都ホテル京都で盛大に開催された。西日本区のみならず海外や東日本区からも参加者があり総勢950名が集った。開会式ではバナーセレモニーがあり各クラブ会長が堂々と入場される姿はいつ見ても清々しい気持ちになる。仁科西日本区理事の開会宣言、点鐘があり、ワイズソングを一同で斉唱する。続いて聖書朗読、開会祈祷があり、讃美歌斉唱、ホストクラブ会長挨拶、来賓の祝辞があった。メモリアルアワーでは1月に昇天された我がクラブの西田卓史君の姿が大きくスクリーンに映し出されたとき胸に熱きものを感じた。続いて理事挨拶、理事報告、年次代議員会報告、奈良伝賞表彰式、各部長報告、各事業主任報告、表彰があった。懇親会は瑞穂の間で盛大に開催された。参加者950名が一同に集まり会食するのは見事なものである。二日目は聖日礼拝に始まり、IBCクラブ締結式、DBCクラブ締結式、設立クラブ報告、理事表彰、理事引継式が厳粛に行われる。森田恵三夫妻の式辞で仁科保雄理事から浅岡徹夫次期西日本区理事に無事引継ぎがなされた。聖日礼拝献金報告、東日本大震災支援金報告がなされ各々贈呈された。ホスト、京都キャピタルクラブ大会実行委員長石倉尚君の謝辞がありYMCAの歌を斉唱し、仁科理事の開会宣言、点鐘をもって終了した。

土佐堀クラブの参加者は生地、岩田、岡野、奥田、北村、北村メネット、工藤、小森、只野、永井、灰谷の11名。



ワイズメンズクラブ国際協会 2010～11年度西日本区表彰において土佐堀クラブは以下の賞を受賞しました。
Yサ献金 100%達成賞、TOF献金優秀クラブ賞、FF献金優秀クラブ賞、CS・TOF・FF献金トリプル達成賞、BFポイント100%達成賞、青年会員獲得賞

YMCAニュース

■第219回大阪YMCA早天祈祷会

日時：7月15日（金）7：30～8：30

会場：大阪YMCA会館10Fチャペル

証し：奥田 時夫さん（大阪YMCA常議員、土佐堀ワイズ）

■大阪YMCA 2011年度

基本方針・年間聖句・讃美歌

【基本方針】

全ての世代の人々と、互いに支え合い、“共に生きる力”を育てます。

【年間聖句】

希望を持って喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。
（新共同訳：ローマの信徒への手紙12章12節）

【年間讃美歌】

讃美歌 234番A「昔主イエスの」

▽ 7月の予定

19日(火)クラブ例会(18:30～)	土佐堀 YMCA902号室
23日(土)中西部評議会(14:00～)	土佐堀 YMCA
26日(火)第二例会・役員会(18:30～)	奥田事務所
26日(火)ブリテン委員会(19:30～)	奥田事務所

▽ 8月の予定

23日(火)クラブ例会(18:30～)ラウンジ「翔」(インテシオ)	
30日(火)第二例会・役員会(18:30～)	奥田事務所
30日(火)ブリテン委員会(19:30～)	奥田事務所

▽ 7月の誕生日おめでとう

7日 今村 一之	7日 岡野 泰和
20日 岩原 千夏	30日 岩田 晋

▽ 7月の結婚記念日おめでとう

7日 北村 詔四・京子

<今月の題字写真> ゴーヤ 二十四節気の小暑をむかえ、今夏は特に節電のための暑さ対策が盛んだ。ゴーヤの「緑のカーテン」は夏バテ対策との一石二鳥で人気らしい。チャンプルで泡盛。暑中お見舞い申し上げます。(Y)
[今期このコーナーでは二十四節気から先人の暮らしの知恵を探ります。]

編集後記 今回からブリテン委員長を仰せつかりました牧口です。ブリテン最優秀賞獲得するぞ！（光）

6月例会出席者数		6月例会出席率		B	F	ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	17名	会員例会出席者	17名	切手	0pt	6月分	11,000円	6月分	207,000円
メネット	3名	メーキャップ	0名	現金	33,000pt			今期累計	207,000円
コメット	0名	合計	17名					残高合計	1,518,060円
ビジター	7名	現会員数	21名					60周年ファンド	
ゲスト	1名	出席率対象数	20名					6月分	0円
出席者合計	28名	出席率	85.0%	前期合計	33,000pt	前期合計	83,977円	合計	225,554円